

II 普及指導等

1 水産業改良普及事業

漁業現場において漁業技術、漁獲物の付加価値向上、地域活動や漁業経営の改善等について直接漁業者団体や漁業者個人に指導を行うもの。特に、震災からの復興を成し遂げるためには、浜の現場に最も精通した水産業普及指導員が直接的に漁業者の活動を支援することが必須であることから、各水産漁港部普及指導員と連携し、効果的に普及事業を展開していく。また、試験研究部門と連携し、新たな試験研究成果の普及指導を実施し生産技術の向上を図るもの。

(1) 水産業普及指導員の配置

県内全域を担当する普及指導員を水産技術総合センター及び気仙沼水産試験場にそれぞれ2名ずつ、各地区を担当する普及指導員を気仙沼・東部・仙台の各地方振興事務所水産漁港部に計10名、普及関連事業予算関係業務や国等との連絡調整・後継者対策等を担当する普及指導員を水産業振興課に1名配置し、合計15名の水産業普及指導員を配置している。このうち、水産技術総合センター及び気仙沼水産試験場には、先進的な漁業者の相談窓口となり、普及指導員の総括・指導、普及と研究等の連携のために、水産業革新支援専門員をそれぞれ1名ずつ配置している。

なお、各地区担当普及指導員は、水産技術総合センター兼務発令としている。

(2) 活動実績等

① 普及活動事業

活動内容	概要	備考
養殖通報等の発行		
ノリ	34回	水技セ
カキ（種がき）	13回	水技セ
ホヤ	6回	気水試
ワカメ	12回	気水試
ホタテガイ	12回	気水試
カキ天然採苗に係る浮遊幼生調査・情報提供		
気仙沼湾	6回	気水試
志津川湾	6回	気水試
技術指導		
アカガイ中間育成	9回	水技セ
ワカメ陸上採苗	35回	水技セ
マガキ天然採苗指導	12回	水技セ
ヒジキ人工採苗	11回	水技セ
ダルス人工採苗・養殖	10回	水技セ
ワカメ採苗・育苗	階上地区、志津川地区	気水試（種苗生産棟オープンラボ）
マボヤ人工採苗	唐桑地区 大谷本吉地区 戸倉地区	気水試（戸倉地区は種苗生産棟オープンラボ）
タオヤギソウ採苗・養殖	階上地区	気水試
6次産業化支援	階上地区、歌津地区	気水試
東日本大震災に係る水産関係調査報告会		
浜と水試の情報交換会	1回	「9 技術指導・普及、研修会、視察・見学者受入等」の「(1) 技術指導・普及、研修会の実績」参照

②普及指導員研修等

年月日	会議等の名称	出席者氏名	開催場所	内容
H29.11.16 ～11.17	2017 年度漁業経営指導員養成講座（専門講座）	中家 浩 （気水試）	千葉県柏市	漁家経営の改善を図るための営漁指導を担当する専門家の養成・スキルアップを目的とした講座
12.14 ～12.15	青函水産試験研究交流会議（ホタテ部会）	齋藤憲次郎 （気水試）	青森県八戸市	ホタテガイ産地の試験研究機関及び普及指導員が、ホタテガイ養殖の現状及び最新の試験・研究結果について情報交換

2 沿岸漁業担い手活動支援事業

本県水産業の本格的な復興を成し遂げるためには各浜の中核となる担い手自らが、地域の牽引役として、新たな技術や考えを取り入れ、漁業の再生に取り組む必要がある。また、震災により漁業就業者は減少しており、新たな担い手となる漁業就業者の確保や育成が急務である。そこで、水産業普及指導員が担い手団体の活動や新規就業者の確保などを総合的に支援し、復興を担う漁業者の育成を推進する。

(1) 活動実績等

①担い手団体の活動支援

	会議等の名称	回数等	備考	
宮城県漁業協同組合関係 青年部関係	役員会	2名×2回	水技セ・気水試	
	総会	2名×1回	水技セ・気水試	
	水産青年フォーラム	3名×1回	水技セ・気水試	
	石巻支所支部			
	役員会	1名×3回	水技セ	
	総会	1名×1回	水技セ	
	気仙沼支所支部			
	役員会	1名×1回	気水試	
	総会	1名×1回	気水試	
	歌津支所青年部			
	総会	1名×1回	気水試	
	女性部関係	総会	1名×1回	水技セ
		北部地区漁協女性部連絡協議会		
総会		1名×1回	気水試	
志津川支所女性部				
総会		1名×1回	気水試	
宮城県漁業士会関係	役員会	1名×2回	水技セ	
		1名×1回	気水試	
	総会	2名×1回	水技セ・気水試	
	中部支部			
	総会	1名×1回	水技セ	
	北部支部			
	役員会	1名×2回	気水試	
総会	1名×1回	気水試		

②漁業に関する各種研修会等

年月日	会議等の名称	場所	内容	受講者数
5.26	鳴瀬支所青年部研修会	鳴瀬支所	カキ殻等の撒布によるアサリの着底促進に向けた取り組み	10
11.28	石巻東部支所漁業研究会勉強会	石巻東部支所	ワカメタンク採苗について	18
2.9	表浜支所小淵青年研究会ワカメ報告会	表浜支所	ワカメ人工採苗結果について	10
2.16	十三浜支所青年研究会ヒジキ報告会	十三浜支所	ヒジキ人工採苗経過について	10

3 みやぎの漁業担い手確保育成支援事業

本県の沿岸漁業者数は、高齢化や後継者不足により減少の一途を辿っており、東日本大震災後は、この傾向は更に顕著となっている。このため、本県水産業の持続的な発展のためには、水産業の担い手となる後継者の育成、新規漁業就業者の確保が急務となっており、地域の水産業を担う若い世代の人材育成と定着を図ることが重要である。そこで、「みやぎ漁師カレッジ」において、新規就業希望者に対し、宮城の漁業に関する座学、宮城を代表する沿岸漁業の現場研修等を実施した。

(1) 活動実績等

年月日	会議等の名称	場所	内容	受講者数
H29.6.1 ～12.22	みやぎ漁師カレッジ 長期研修	座学：女川町まちなか交流館 現地研修：石巻市、女川町、東松島市等	座学：宮城の水産業の概要、水産関係諸制度、ロープワーク等 現場研修：ノリ・カキ・ワカメ・ギンザケ・ホヤ・ホタテ養殖、定置網等	7
8.21 ～8.25	みやぎ漁師カレッジ 第1回短期研修	座学：宮城県水産技術総合センター 現地研修：石巻市、東松島市、七ヶ浜町	座学：宮城の水産業の概要、ロープワーク 現場研修：カキ養殖現場見学、種ガキ原盤作り、ノリ陸上採苗見学、延縄揚げ体験、刺網揚げ・網外し	11
11.13 ～11.17	みやぎ漁師カレッジ 第2回短期研修	座学：南三陸町スポーツ交流村 現地研修：南三陸町	宮城の水産業の概要、ロープワーク、カキ・ホタテガイ・ホヤ養殖現場見学、カキ剥き体験、種ガキ原盤作り、ホヤ種挟み込み体験、サケ定置網網揚げ、ふ化放流場見学など	4

4 みやぎの農商工連携・6次産業化支援強化事業

(1) タオヤギソウ商品開発と情報発信の支援

気仙沼水産試験場が開発した種苗生産から養殖技術を基に、現在、県漁協気仙沼地区支所青年部において養殖試験を実施中だが、併せて新たな食材（地域資源）として普及していくことが課題であることから、県内海藻加工メーカー等との連携による商品開発等を支援するほか、情報発信のための展示&試食会の開催を支援した。

(2) 蓄養ウニの販路開拓の支援

磯焼け対策の一環として県漁協歌津支所青年部が取り組むキタムラサキウニ蓄養プロジェクトに

ついて、今後の販路開拓と販売促進を見据え、専門家を派遣しマーケティングに関する助言を行った。

5 技術・経営診断技術開発研究

水産技術総合センターは、農林水産技術会議事務局委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」における宮城県漁業・漁村型実証研究のうち、貝類養殖業（カキ）、サケ科魚類養殖業（ギンザケ）、水産加工業に関する課題に参加している。これらの大規模実証研究に携わる多様な研究機関が協同効果を最大限発揮し、かつ効率的な研究実証が可能となるように先端技術に係る効果的な展示を行うとともに、開放型研究拠点（オープンラボ）の整備・運営を行った。また、各種行事等における展示等に必要なポスターの作成等を行った。

(1) 活動実績等

①行事

年月日	行事名	場所	関係するコンソーシアム、内容等
H29.5.23	「あまころ牡蠣・あたまっこカキ」メディア向け試食会	東京都	貝類養殖業コンソーシアム
5.24	「あまころ牡蠣・あたまっこカキ」メディア向け試食会	仙台市	貝類養殖業コンソーシアム
8.7 ~9.8	工業及び農林水産業関係試験研究機関の研究成果展	宮城県庁 18 階 県民広報室	貝類養殖業コンソーシアム サケ科魚類養殖業コンソーシアム 水産加工業コンソーシアム
8.23 ~8.25	2017 ジャパン・インターナショナル・シーフードショー	東京都 東京ビッグサイト	貝類養殖業コンソーシアム
9.7	平成 29 年度気仙沼水産試験場浜と水試の情報交換会	気仙沼市 気仙沼水産試験場	貝類養殖業コンソーシアム
10.4 ~10.6	アグリビジネス創出フェア 2017	東京都 東京ビッグサイト	貝類養殖業コンソーシアム サケ科魚類養殖業コンソーシアム 水産加工業コンソーシアム
10.14 ~10.15	みやぎまるごとフェスティバル 2017	宮城県庁	貝類養殖業コンソーシアム サケ科魚類養殖業コンソーシアム
H30.2.21 ~2.22	第 15 回シーフードショー大阪	大阪府 ATC ホール	貝類養殖業コンソーシアム
3.13	平成 29 年度宮城県水産技術総合センター試験研究成果発表会	石巻市 宮城県水産 技術総合センター	貝類養殖業コンソーシアム サケ科魚類養殖業コンソーシアム 水産加工業コンソーシアム
3.15	平成 29 年度宮城県魚類防疫推進会議	宮城県庁	サケ科魚類養殖業コンソーシアム
3.17	宮城水産復興連携協議会公開シンポジウム	女川町 地方卸売市場	貝類養殖業コンソーシアム サケ科魚類養殖業コンソーシアム

②オープンラボの利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数	15	0	4	74	73	19	42	8	15	0	18	68	336

6 水産都市活力強化対策支援事業

(1) 深海魚を利用した商品開発の支援

宮城県底びき網漁業広域水産業再生委員会の広域浜プランの取組の一つである低未利用魚による商品開発を行うに当たり、底びき網漁業組合及び水産加工組合の両組合職員へ指導・助言を行うと共に先進地視察を行った。視察先は、新潟県佐渡市で低未利用魚を使った加工食品を製造販売している（株）シンワシーデリカであった。